



ケーススタディ: Siegwerk 社

最新のクロマトグラフィーデータシステムで 生産性向上とコスト削減を実現

Agilent
CrossLab
From Insight to Outcome

ドイツのケルンに本社を構える Siegwerk 社は、包装、ラベル、カタログ用の印刷インクとソリューションの国際的トップメーカーです。180 年以上にわたって培われた経験をもとに、多様な印刷法に関する深い製品知識と専門技術を提供しています。

Siegwerk 社の世界的な生産およびサービスネットワークでは、変わらぬ高品質を誇る基本色インクとワニスを提供されています。これらの製品は、世界各地の「Center of Excellence」15 拠点で、標準化されたプロセスに従って製造されています。一貫した製品品質を達成するため、原料と中間生成物の品質には十分に注意を払っています。また、50 拠点を超える調合センターで、顧客ごとの要件に合わせて印刷インクが製造されています。

ラボ全体の分析機器の監視とコントロールにネットワーク型 CDS を選択

Siegwerk 社の分析ラボは、新製品の開発、製造上の問題のトラブルシューティング、原料や最終製品の卓越した品質と安全性を支える重要な役割を果たしています。しかし、これらの目標をマルチベンダー機器環境で達成するのは、簡単なことではありませんでした。システムはメーカーごとに分断された状態にあり、統合アクセス、レポート作成、保管のためにデータを集約するのも難しい状況でした。

これを解決したのが、アジレントの OpenLab CDS EZChrom Edition です。このソリューションにより Siegwerk 社は、たった 1 つのソフトウェアインターフェースと少数の PC で複数の機器を管理し、生成されたデータを一元的に保管、処理、アクセスできるようになりました。また、マルチベンダー機器コントロールにより、既存の機器を使い続けながら、そのデータを統合できました。さらに、スタッフがネットワーク内のどこからでもデータにアクセスできるようになり、生産性が高まりました。

「アジレントのおかげで、標準化されたネットワーク型ラボという夢がかないました。クライアント/サーバーシステムの導入時には、真のプロフェッショナルチームが心強く導いてくれました。これで、21 世紀のデジタル環境に向かって大きな一歩を踏み出すことができました。」

Dieter Franke 博士
分析サービス部門責任者
Siegwerk 社

実現された効果

- 顧客への対応時間が 80% 短縮し、サンプル処理数が倍増
- 既存のラボ資産を活用
- ソフトウェアの管理とスタッフのトレーニングにかかる時間を大幅に短縮
- マルチベンダーデータを整理して一元的に保管することで、アクセス、処理、レポート作成を迅速化
- インターネット上のどこからでも機器コントロールとデータアクセスが可能になり、スタッフの作業効率が大幅に向上
- 必要な PC 台数を最小化し、メンテナンスコストとラボスペースコストを削減

ラボの状況

Siegwerk 社のラボでは、メーカー 5 社のクロマトグラフィー機器が 30 台以上運用されています。各機器は、スタンドアロン型インテグレータ、またはそれぞれ異なるベンダーのソフトウェアを使用する独立したワークステーションでコントロールされていました。これらのシステムで生成されるデータはフォーマットが異なるだけでなく、独立したワークステーションに分散していたため、アクセス、管理、レポート作成や保管のための統合が容易ではありませんでした。とはいえ、満足できる性能を備え、扱っているアプリケーションにぴったりの機器を置き換えるとなると、大変なコストが伴います。

目標とする品質と生産性を達成するためには、クロマトグラフィーソフトウェアの標準化とラボシステムのネットワーク化によってこの状況を解決する必要があると、分析サービスラボの責任者である Dieter Franke 博士とチームリーダーを務める Alexander Lichtenberg 氏は考えました。その第 1 段階は、機器をインテグレータから PC ベースのコントロールに移行し、GC とコンピュータワークステーション間の直接接続を LAN ベースのクライアント/サーバーシステム接続に切り替えることでした。IT 部門の協力のもと、新しい先進的 LAN インフラストラクチャが導入されました。ところが、次の段階になって厄介な状況に陥りました。当初は他のベンダーのネットワーク型 CDS ソリューションを導入しようとしたが、十分な支援が受けられず、失敗に終わったのです。

解決方法

この苦境をアジレントの営業チームに相談した後、Franke 博士と Lichtenberg 氏は、OpenLab クロマトグラフィーデータシステムをクライアント/サーバー構成で導入することを決断しました。マルチベンダー機器を共通のソフトウェア環境でコントロールする機能により、より少ない PC で 1 つのソフトウェアからすべての機器をコントロールできるようになりました。また、世界中の多数のラボへの導入実績を持つソリューションの信頼性と、導入を成功へと導く経験豊富なアジレントのサービスおよびサポートチームの支援が、ラボにとって大きな力になりました。

「アジレントのソリューションを選んで正解でした。ゆくゆくは、すべてを OpenLab システムで管理することになるでしょう。既存の機器を使い続けるにせよ、新しい機器を購入するにせよ、不安はありません。」

Dieter Franke 博士

分析サービス部門責任者

Siegwerk 社



成果: 大幅な生産性向上とコスト削減

OpenLab ソリューションにより、Siegwerk 社にいくつかの利点がもたらされています。1 つは、既存の機器を 1 つのソフトウェアでコントロールできるようになったことです。アプリケーションのニーズに応じて、将来的に追加される可能性のある機器にも対応できます。また、このシステムで中央のサーバーから機器をコントロールできるようになり、PC の台数と、それに伴うメンテナンスやラボスペースなどのコストが削減されました。さらに、Siegwerk 社のマルチベンダー機器環境全体が 1 つのソフトウェア製品でカバーされ、ソフトウェアの管理および更新とスタッフのトレーニングにかかる時間が大幅に短縮されました。

このソリューションでは、安全なインターネットアクセスも提供されるため、Franke 博士と同氏のスタッフは、どこからでも機器をコントロールし、データにアクセスできます。優れた信頼性とリモートアクセスにより、シーケンスの設定、その進行状況の監視、データの処理と確認をオフィスでも、自宅からでも行えるようになりました。リモートアクセスを使用すれば、専用の機器データシステムを使用するための順番待ちで時間が無駄になることもありません。

これまで、ラボでのデータの共有には USB フラッシュドライブが使用されていました。現在は、さまざまな機器で生成されるデータをサーバーに収集して保管し、レポート作成のため、また他のユーザーとの間で簡単に共有できるようになりました。この機能は、製造や品質上の問題をすばやく突き止め、解決するうえでも役立つはずです。

成果: システムのスムーズな導入

アジレントのサービスチームの支援により、CDS システムの導入と展開は迅速かつスムーズに進みました。インストール前には、提案システムのサーバーやその他の IT 要件に関する詳細な情報がアジレントから提供されました。それをもとに適切な機器を用意することで、わずかな時間でシステムを立ち上げることができ、最小限のダウンタイムで済みました。

「OpenLab があれば、オフィスやラボステーションでシーケンスをプログラムした後に、他の場所からタブレットで計算や解釈ができます。非常に効率的で、満足しています。」

Alexander Lichtenberg 氏

分析サービス部門チームマネージャ

Siegwerk 社



アジレントのオープン機器コントロール標準

アジレントは、お客様の生産性を最大限に高め、ラボシステムへの投資とそこで生成される結果を保護するために、ラボインフォマティクスのオープンシステム戦略を推進しています。このオープンシステムアプローチにより、特定のベンダーに縛られることなく、ニーズに最適なハードウェアとソフトウェアを選べるようになります。アジレントは引き続き、他社との協力を通して、あらゆるマルチベンダー GC および LC 機器を OpenLab ソフトウェア製品群に統合していきます。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2018
Printed in Japan, April 12, 2018
5991-9281JAJP